



リリースノート GenAI

NetApp
October 06, 2025

目次

リリースノート	1
NetApp Workload Factory for GenAIの新機能	1
2025年10月5日	1
2025年8月3日	1
2025年6月29日	2
2025年6月3日	2
2025年5月4日	2
2025年3月2日	3
2025年2月2日	4
2025年1月5日	4
2024年12月1日	5
2024年11月3日	5
2024年9月29日	6
2024年9月1日	6
2024年8月4日	6
2024年7月7日	7

リリースノート

NetApp Workload Factory for GenAIの新機能

Workload Factory の Generative AI ワークロード機能の新機能について説明します。

2025年10月5日

BlueXP workload factoryがNetAppワークロードファクトリーに

BlueXP は、データ インフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。その結果、BlueXP workload factoryの名前がNetAppワークロード ファクトリーに変更されました。

Amazon Q Business のNetAppコネクタに汎用 NFS/SMB データソースを追加するためのサポート

Workload Factory API を使用すると、汎用 NFSv3、NFSv4、または SMB 共有から Amazon Q Business のNetAppコネクタにデータ ソースを追加できるようになりました。これにより、Amazon FSx for NetApp ONTAP以外のファイルシステムでホストされているボリュームに保存されているファイルを含めることができます。

["Amazon Q Business 用の NetApp コネクタを作成する"](#)

["コネクタにデータソースを追加する"](#)

ナレッジベースの高度なチャット設定

応答の長さ、温度、推論設定など、ナレッジベースのチャット モデルに適用可能な高度なチャット設定を構成できるようになりました。これらの設定の一部 (最新性や変更時間の設定、高度な取得設定、システム プロンプトなど) は、Workload Factory API を使用する場合にのみ利用できます。

["生成AIナレッジベースの作成"](#)

埋め込み、チャット、再ランキングモデルで推論タイプの選択がサポートされるようになりました

選択した埋め込み、チャット、または再ランク付けモデルに推論設定がある場合は、推論タイプを選択できるようになりました。これにより、チャットボットのパフォーマンスとリソース要件をニーズに合わせてより適切に調整できるようになります。

["生成AIナレッジベースの作成"](#)

2025年8月3日

構造化データ結果の安全な保存

チャットボットのクエリ結果に構造化データが含まれている場合、GenAI はその結果を Amazon S3 バケットに保存できます。これらの結果が S3 バケットに保存されると、チャット セッション内のダウンロード リンクを使用してダウンロードできます。

["生成AIナレッジベースの作成"](#)

MCP サーバーの可用性

NetApp は現在、NetApp Workload Factory for GenAI に Model Context Protocol (MCP) サーバーを提供しています。サーバーをローカルにインストールすると、外部の MCP クライアントが GenAI ナレッジ ベースからクエリ結果を検出して取得できるようになります。

["NetApp Workload Factory GenAI MCP サーバー"](#)

2025年6月29日

汎用 **NFS/SMB** ファイルシステムでホストされるデータソースのサポート

汎用SMBまたはNFS共有からデータソースを追加できるようになりました。これにより、Amazon FSx for NetApp ONTAP以外のファイルシステムでホストされているボリュームに保存されているファイルも含めることができます。

["ナレッジベースにデータソースを追加する"](#)

["コネクタにデータソースを追加する"](#)

2025年6月3日

運用の監視と追跡に使用可能なトラッカー

GenAIでTracker監視機能が利用可能になりました。Trackerを使用すると、保留中、進行中、完了済みの操作の進行状況とステータスを監視および追跡したり、操作タスクとサブタスクの詳細を確認したり、問題や失敗を診断したり、失敗した操作のパラメータを編集したり、失敗した操作を再試行したりできます。

["NetApp Workload FactoryのTrackerでワークロード操作を監視する"](#)

知識ベースの再ランク付けモデルを選択する

ナレッジベースで使用する特定のリランカーモデルを選択することで、再ランク付けされたクエリ結果の関連性を高めることができます。GenAIは、Cohere RerankモデルとAmazon Rerankモデルをサポートしています。

["生成AIナレッジベースの作成"](#)

2025年5月4日

Amazon Q Business 向け **NetApp** コネクタのサポート

GenAI のこのリリースでは、NetApp Connector for Amazon Q Business のサポートが導入され、Amazon Q Business 用のコネクタを作成できるようになりました。Amazon Bedrock用の生成AIナレッジベースを構築するよりも、初期設定が少なく済み、Amazon Q Business AIアシスタントをすばやく簡単に活用できます。

["Amazon Q Business 用の NetApp コネクタを作成する"](#)

強化されたチャットモデルサポート

生成AIでは、ナレッジベース用に次の追加チャットモデルがサポートされるようになりました。

- ["Mistral AIモデル"](#)
- ["Amazon Titanテキストモデル"](#)
- ["Meta Llamaモデル"](#)
- ["Jamba 1.5モデル"](#)
- ["Cohereコマンドモデル"](#)
- ["ディープシークモデル"](#)

生成AIは、Amazon Bedrockがサポートする各プロバイダのモデルをサポートしています。 ["Amazon Bedrockでサポートされる基盤モデル"](#)

["生成AIナレッジベースの作成"](#)

権限に関する用語を更新

Workload Factory のユーザー インターフェイスとドキュメントでは、読み取り権限を示すために「読み取り専用」を使用し、自動化権限を示すために「読み取り/書き込み」を使用するようになりました。

2025年3月2日

組み込みチャットボットの機能強化

質問と回答をクリップボードに直接コピーしたり、チャットウィンドウのサイズを調整したり、タイトルを変更したりできるようになりました。さらに、チャット応答にテーブルを含めることができるようになりました。テーブルはコピー可能です。

["生成AIナレッジベースのテスト"](#)

チャット応答引用のサポート

チャットの応答に、応答を生成するために使用されたファイルとデータのチャンクをリストする引用が含まれるようになりました。

["生成AIナレッジベースのテスト"](#)

ファイル形式のサポートの強化

このリリースの生成AIでは、ファイルサポートが強化されています。

- チャットモデル機能CSVサポートが改善されました。これにより、CSVファイルからデータを照会するときに、より便利な応答が可能になります。
- 生成AIは、データソースからApache Parquetファイルを取り込むことができるようになりました。
- 生成AIでは、画像を含むMicrosoft Word DOCXファイルの取り込みがサポートされるようになりました。DOCXドキュメント内に埋め込まれた画像がスキャンされ、埋め込まれた画像からのテキストインサイトがナレッジベースのクエリへの応答に含まれます。

"サポートされるデータソースファイル形式"

2025年2月2日

Amazon Nova基盤モデルのサポート

生成AIはAmazon Nova基盤モデルをサポートするようになりました。Amazon Nova Micro、Amazon Nova Lite、およびAmazon Nova Proがサポートされています。

"GenAIの要件"

データソースのファイルタイプフィルタリング

生成AIでは、データソースを追加するときに、データソーススキャンに含める特定のファイルタイプの選択がサポートされるようになりました。

"ナレッジベースへのデータソースの追加"

データソースのファイル変更日のフィルタリング

生成AIでは、データソースの追加時に変更日によってデータソーススキャンに含めるファイルのフィルタリングがサポートされるようになりました。インクルードされるファイルの変更日の範囲を選択できます。

"ナレッジベースへのデータソースの追加"

画像ファイルのサポートとPDFファイルのサポートの強化

生成AIでは、画像やグラフの説明、ドキュメントテキストからのインサイトを使用してナレッジベースのクエリへの応答を強化できるようになり、より豊かで高品質な回答が得られるようになりました。生成AIでは、PDFファイル内の画像ファイルおよび画像をスキャンできるようになりました（マルチモーダルファイルサポートとも呼ばれます）。画像またはPDFファイルのスキャンを選択した場合は、画像のテキスト（PDFドキュメントに埋め込まれた画像を含む）がデータソースにスキャンされ、スキャンからのインサイトがナレッジベースのクエリへの応答に含まれます。

"ナレッジベースへのデータソースの追加"

ハイブリッド検索と再検索のサポート

生成AIでは、ハイブリッド検索を使用して結果をリランク付けすることで、検索結果の関連性と精度を大幅に向上させることができます。ハイブリッド検索は、従来のキーワードベース検索の強みと高度な高密度ベクトルベースのセマンティック検索技術を組み合わせたものです。標準的なキーワード検索結果は、近い一致と言語的なニュアンスで強化され、関連性が向上します。その後、生成AIはCohere RerankやAmazon Rerankなどの高度なリランキングモデルを使用してこれらの結果をさらに絞り込み、最も関連性の高い結果を返します。この機能は、新しく作成されたナレッジベースで使用できます。

"GenAI向けNetAppワークロードファクトリーの詳細"

2025年1月5日

カスタムSnapshot名

アドホックスナップショットのスナップショット名を指定できるようになりました。

["スナップショットでナレッジベースを保護"](#)

カスタムAIエンジンインスタンス名

導入時にAIエンジンインスタンスにカスタム名を付けることができるようになりました。

["GenAIインフラの導入"](#)

破損または欠落している 生成AIインフラの再構築

AI エンジン インスタンスが破損したり、何らかの理由で削除されたりした場合は、Workload Factory で再構築することができます。ワークロード ファクトリーは、再構築が完了するとナレッジ ベースをインフラストラクチャに自動的に再接続し、すぐに使用できるようにします。

["トラブルシューティング"](#)

2024年12月1日

Snapshotからナレッジベースをクローニング

NetApp Workload Factory for GenAI では、スナップショットからのナレッジ ベースのクローン作成がサポートされるようになりました。これにより、ナレッジ ベースの迅速な回復と既存のデータ ソースを使用した新しいナレッジ ベースの作成が可能になり、データの回復と開発に役立ちます。

["ナレッジベースの複製"](#)

オンプレミスのONTAPクラスタの検出とレプリケーション

オンプレミスのONTAPクラスタデータを検出して FSx for ONTAPファイル システムに複製し、AI ナレッジベースの強化に使用できるようにします。すべてのオンプレミス検出およびレプリケーション ワークフローは、ストレージ インベントリの新しい **On-Premises ONTAP** メニューから実行できます。

["オンプレミスの ONTAP クラスタを検出"](#)

2024年11月3日

個人識別情報をデータガードレールでマスクする

Generative AI ワークロードでは、NetAppコンソール分類を活用したデータ ガードレール機能が導入されています。データ ガードレール機能は、個人を特定できる情報 (PII) を識別してマスクし、コンプライアンスを維持し、組織の機密データのセキュリティを強化するのに役立ちます。

["生成AIナレッジベースの作成"](#)

["NetAppコンソールの分類について学ぶ"](#)

2024年9月29日

ナレッジベースボリュームのSnapshotとリストアのサポート

ナレッジベースのポイントインタイムコピーを作成することで、ジェネレーティブAIワークロードのデータを保護できるようになりました。これにより、偶発的な損失からデータを保護したり、ナレッジベースの設定の変更をテストしたりできます。以前のバージョンのナレッジベースボリュームはいつでもリストアできます。

"ナレッジベースボリュームのスナップショットの作成"

"ナレッジベースボリュームのスナップショットのリストア"

スケジュール済みスキャンを一時停止

スケジュールされたデータソーススキャンを一時停止できるようになりました。デフォルトでは、ジェネレーティブAIワークロードは各データソースを毎日スキャンし、各ナレッジベースに新しいデータを取り込みます。最新の変更を取り込みたくない場合（テスト中やスナップショットのリストア中など）は、スケジュールされたスキャンを一時停止していつでも再開できます。

"ナレッジベースの管理"

ナレッジベースでのデータ保護ボリュームのサポート

ナレッジベースボリュームを選択する際に、NetApp SnapMirrorレプリケーション関係の一部であるデータ保護ボリュームを選択できるようになりました。これにより、SnapMirrorレプリケーションですでに保護されているボリュームにナレッジベースを格納できます。

"ナレッジベースに統合するデータソースを特定する"

2024年9月1日

その他のチャンキング戦略

ジェネレーティブAIワークロードで、データソースに対してマルチセンテンスチャンキングとオーバーラップベースのチャンキングがサポートされるようになりました。

ナレッジベースごとの専用ボリューム

ジェネレーティブAIワークロードでは、新しいナレッジベースごとに専用のAmazon FSx for NetApp ONTAPボリュームが作成されるようになりました。これにより、ナレッジベースごとに個別のSnapshotポリシーが有効になり、障害やデータポイズニングに対する保護が強化されます。

2024年8月4日

Amazon CloudWatch Logsの統合

ジェネレーティブAIワークロードがAmazon CloudWatch Logsと統合され、ジェネレーティブAIワークロードのログファイルを監視できるようになりました。

チャットボットアプリケーションの例

NetApp Workload Factory GenAI サンプル アプリケーションを使用すると、Web ベースのチャットボット アプリケーションで直接対話して、公開されたNetApp Workload Factory ナレッジ ベースからの認証と取得をテストできます。

2024年7月7日

GenAI向けワークロードファクトリーの初期リリース

最初のリリースには、組織のデータを埋め込むことによってカスタマイズされたナレッジベースを開発する機能が含まれています。ナレッジベースには、ユーザー用のチャットボットアプリケーションからアクセスできます。この機能により、組織固有の質問に対する正確で適切な回答が保証され、すべてのユーザーの満足度と生産性が向上します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。